

ております。

一方ここでは詳述しませんでした。学会発表、論文発表は本年は減少しており、New Millennium に入り一層の努力が必要であると痛

感しております。

今後とも各科、各病院・医院の先生方、Comedical の皆様の御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

麻酔科 平成 12 年 (2000 年)

麻酔科医長 小 瀧 正 年

【人 事】

ミレニアムの今年も当科は常勤 2 名だが体制に変化があった。すなわち 4 月に旭医大の館岡一芳医師が赴任し、札幌医大と旭医大のハイブリッドになった。これは札幌医大の医局事情によるもので、5 月以後は旭医大から週 1 回、10 月以後は週 2 回定期応援を得るようになった。さらに両大学間の話し合いで、平成 13 年 4 月から麻酔科は念願の常勤 3 名体制（旭医大）となり、以後も週 1 回定期応援が得られる予定である。したがって来年度は今までよりは院内の需要に答えられるものと思う。

【診 療】

麻酔科管理手術

総数 987 (定時 745 臨時 182 緊急 60)

内訳

整形外科	262	(定時 180 臨時 72 緊急 10)
外科	243	(定時 198 臨時 31 緊急 14)
胸部外科	154	(定時 107 臨時 36 緊急 11)
耳鼻科	114	(定時 111 臨時 3 緊急 0)
脳外科	92	(定時 49 臨時 20 緊急 23)
産婦人科	66	(定時 57 臨時 8 緊急 1)
泌尿器科	36	(定時 30 臨時 5 緊急 1)

神経科 8 (定時 8 臨時 0 緊急 0)

皮膚科 5 (定時 5 臨時 0 緊急 0)

眼科 4 (定時 0 臨時 4 緊急 0)

麻酔科 2 (定時 0 臨時 2 緊急 0)

小児科 1 (定時 0 臨時 1 緊急 0)

ペインクリニック

延べ総数 57 (新患者 8)

疾患 治療

突発性難聴 2 星状神経節ブロック 39

顔面神経麻痺 1 硬膜外電極挿入 3

癌性疼痛 1 硬膜外神経ブロック 1

ASO 1 薬処方 1

その他 3

当科管理麻酔件数は昨年より 45 件少ない 987 件でこの 2 年間減少している。定時手術では昨年末から 1 人体制となった耳鼻科手術の減少 (-52 件) が目立った。一方、胸部外科 (+13)、神経科 (+8) は増加した。後者は躁うつ病患者への電気の痙攣療法による。臨時、緊急手術では整形外科 (-16 件)、脳外科 (-13 件) が減少し、外科 (+8) がやや増加した。なおペインクリニック件数は述べ 57 件、新患 8 名と昨年同様だった。

【研究活動】

学会発表は全国学会（日本臨床麻酔学会）1 題、

地方会(北海道麻酔学会)2題で、論文は全国誌(臨床麻酔)1編、院内誌(名市病誌)3編とやや増えた。今後も努力してゆきたい。

【展 望】

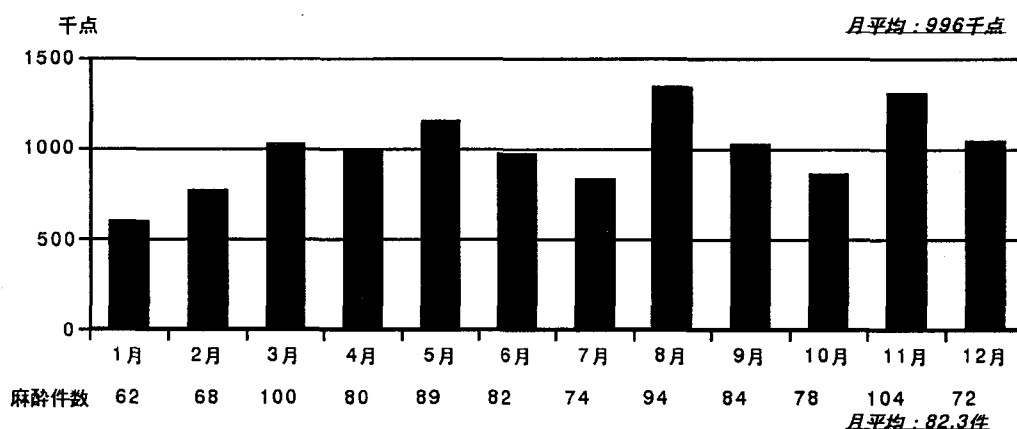
当科は平成13年4月から常勤3名体制となり1名増える。これまでの2名体制では、従来外科系各科からの要望であった自前の麻酔管理(のいくつ)を麻酔科管理にして欲しい、あるいは救急外来、ペインクリニック、ICU患者管理を麻酔

科主導でやって欲しいなどに答えることは不可能であったが、今後はこれらの要望に鋭意協力してゆくつもりである。

しかしなおマンパワーの不足は否めず、すべてに対応することは無理である。そこで、この機会に現在進められている当院の将来構想案に照らした当科の活用法を院内で協議してもらい、急を要するところ、可能なところから対処してゆくのが次善の策と考える。

当院が21世紀、さらに飛躍を遂げるような構想を期待する。

【月別麻酔件数と診療点数】



昨年より月平均で麻酔件数は4件減り、診療点数も7.5千点減少した。(一件毎では440点増加)

昨年との比較は以下のとおり。

	2000 年	1999 年
麻酔総件数	987	1032
月別平均件数	82.3	86.0
麻酔診療総点数	11957446	12047083
月別平均点数	996454	100399
一件毎の点数	12115	11674